

(様式1)

令和4年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	<p>勤労を尊び、品性豊かで情操と創造性に富み、次世代を担う調和のとれた工業人の育成を目指す。</p> <p>(1)品性の陶冶に努め、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。</p> <p>(2)個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。</p> <p>(3)真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。</p>	<p>学校整理番号 40</p> <p>学校名 青森県立弘前工業高等学校</p> <p>全日制の課程 校舎</p>
(2) 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣が身につけている生徒が多い。各種資格取得やものづくり教育等に積極的に取り組み、成果を上げている。 ・希望進路実現については良好で、早期の達成状況となっている。 ・生徒個々の希望進路実現に向け、基礎学力の定着及び専門的な基礎技術・技能の定着・向上を目指した、組織的な指導体制の更なる強化構築を進める。 	<p>自己評価実施日 令和 5年 1月23日(月):学校総括評価会議</p> <p>学校関係者評価実施日 令和 5年 1月 31日(火)</p>
(3) 重点目標	<p>1 多様化する生徒一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の定着に努める。(学習指導の充実)</p> <p>2 生徒自らが自己実現を図っていくための力の育成を図り、健全な学校生活を確立する。(生徒指導の充実)</p> <p>3 進路目標実現に向けて、生徒・教職員・保護者が共に早期から取り組む、計画的・組織的・継続的な進路指導の推進に努める。(進路指導の計画的・組織的な)</p> <p>4 教職員のものづくり技術向上を推進するとともに、生徒が工業学習への意欲が向上するような指導に努める。(ものづくり教育の充実)</p>	<p>(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成</p> <p>学校評議員 4名 (同窓会役員、保護者、地域住民、大学等の教育関係者 等)</p> <p>学校関係者10名 (校長、教頭、事務長、関係分掌主任 等)</p>
(4) 結果の公表	学校関係者評価(保護者アンケート等)の結果とともに、ホームページへ掲載して公表する。	

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実	<p>① 基本的な知識・技能の定着と活用力を育む指導及び評価の工夫改善に努める。</p> <p>② 各分掌間等の連絡調整に努め、円滑な学校運営を図る。</p>	<p>① 生徒の実態を踏まえた教材の精選やICTの活用など、研究授業による授業改善を実施している。評価と指導の一体化のため、新学習指導要領を踏まえ、新入生にシラバスを配付して到達目標を明確化し、定期考査前の講習会等で生徒の学習意欲を高めることができた。また、学びの基礎診断後の分析会を実施している。</p> <p>② 校務支援システムを含めた成績処理システムの安定稼働と校内情報システムの活用により、業務の効化に取り組んだ。また、弘工高ポータルによる連絡・確認事項等の配信によって、職務の効率化を図ることができた。</p>	A	<p>生徒の研究発表会を見たところ、地域とつながる取り組みが多いこと、特に印象深かったのが「先生はヒントはくれるが答えはくれない」の言葉で、自分たちで取り組み解決する力を育てていると感じた。今後も続けて欲しい。</p> <p>次年度入学志望状況で電気・電子の倍率が低いのが気になる。原因がどこにあるのか、ピーアールなど工夫して、倍率を上げてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識・技能の定着と活用力を育む指導及び学習評価と授業の改善を今年度同様に取り組む。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業及び学習意欲を高めるための工夫。 ・今年度から始まる新学習指導要領に沿った授業と評価方法を確率させる。 ・円滑な学校運営のための分掌間の連絡調整に努めるとともに、ICT機器及び校務支援システムを活用した業務の効率化を今年度以上に深化させる。
2	生徒指導の充実	<p>① いじめ防止対策推進法に則した組織的な校内での体制・取組強化を図る。③ 自転車事故等の未然防止を目指す。</p> <p>② 望ましい集団活動(特別活動等)を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</p>	<p>① 教員間の連携強化に努めたことで、事例の早期解決ができた。③ 交通安全教室、自転車点検、自転車街頭交通安全指導を実施して意識の啓発を図り、通学路に潜んでいる危険要因に自ら気づき、事故を回避する能力が少しでも高まることにより自転車事故件数の減少に繋がった。</p> <p>② 生徒の自主的・実践的活動が促され、活発化するような適切な助言指導を徹底して行うことを心がけた。その結果コロナ禍の中でも集団活動を通じた生徒の発達が見受けられた。</p>	B	<p>学校の魅力を伝えるためにも、ホームページの部活の記録をできるだけこまめに更新してほしい。また、部活の活躍について校舎に張り出してアピールしているのが良い。見ていて嬉しくなった。続けてほしい。</p> <p>保健部における生徒の「心の悩み」対応が良いと思う。引き続きメンタル不調をきたしている生徒や多様な生徒に対し、スクールアドバイザー等を活用した内面的なケア、いじめの無い環境づくりに努めて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな学校生活を目指すうえで以下の目標を継続指導していく。 ・基本的生活習慣を確立させる。 ・規範意識やマナーの向上を図る。 ・事故防止のための指導を徹底する。 ・生徒会諸行事の活性化を目指す。 ・ホームルーム活動の活性化を図る。 ・部活動推進と強化に努める。
3	進路指導の計画的・組織的な指導の推進	<p>① 生徒個々の希望進路実現に向けて、進路意識の早期啓発を図り、継続的な進路指導を行う。</p> <p>② 保護者に対しても、早期の進路情報等の提供に努め、より良い生徒の自己実現を目指す。</p>	<p>① 生徒の希望進路実現のための指導を継続し、早期に進路意識の啓発を図る。職業観の育成や地元企業理解を目的とした企業見学会等を実施した。国公立大学進学希望者に対する講習会を計画し、実施した。</p> <p>② 2学年を対象に、4者面談(生徒・保護者・担任・科主任)を実施。学校公開日に保護者対象の進路説明会、学校行事日等での来校保護者に進路指導室を開放し個別説明会を実施した。2学期末には進路通信を発行した。</p>	B	<p>就職率100%は素晴らしいと思うが、先輩がいる企業に行っているのか、新規なのか、どのくらいの分布なのかの調査をしてみようか。傾向を把握して、安心して送り出せるようにしてほしい。</p> <p>卒業生の就職先とその後の状況を調査すると、各企業で役職に就いている方も多くなっているのではないかと考える。そういった方と連携を図り、講演をしてもらったり、近年の卒業生に実体験を話す機会を設けたりして進路指導の充実を図ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望進路の決定実現を目指す。 ・地元企業理解促進を図る。 ・高大接続改革における大学入試多様化へ対応できる環境の構築を図る。 ・保護者との協働・連携・信頼に努め、生徒の進路指導の充実を図る。 ・3学年を対象に卒業式前の出校日に弘前市役所企画課と連携を取りUターン・Jターン等についてのガイダンスを実施。(令和5年2月)
4	ものづくり教育の充実	<p>① ものづくり教育や資格取得等を絡めた学習指導を基盤にし、工業技術・技能の定着度の向上を目指す。</p> <p>② 指導者の指導力向上と人材育成を図る。</p>	<p>① ものづくりコンテスト東北大会：測量部門出場4位。ものコン2022東北大会予選(青森県大会)：測量部門1位。資格取得では、指導を通して生徒が身に付ける力を明確にし系統的な指導を行い実際に進路に結びつけている。</p> <p>②今年度は新型コロナウイルスの中、県外への指導者技術講習会の実施・参加があった。来年度も引き続き人材育成の充実に向けた取り組み。</p>	B	<p>ものづくり産業への人材輩出が工業高校の使命であると考えている。地元企業や大学等と連携を強化して、よりよい人材の輩出にこれからも期待する。</p> <p>地域に本校があるのが、とても良い影響を与えてくれている。声をかけると挨拶を返してくれるし、良い教育をしていると感じている。これからも良い関係を続けられるよう指導願いたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術・技能の定着と職業観の育成を目指す。 ・地域・産業界等との連携強化を進める。 ・安全作業の徹底を目指す。 ・資格取得の奨励と、ものづくり教育の充実を目指す。 ・指導者の技術・技能の向上、自己研鑽に努める。 ・教職員の指導力向上に向けた校外研修を推進する。

(11) 総括	<p>1-1 生徒の学力定着を目指し、評価と指導の一体化を根幹にした授業改善を進めた。年度初めに提示するシラバスにより各教科・科目の学習到達度を明確にし、各教科の指導の下、生徒の学習意欲を高めた。</p> <p>1-2 各教科からの要望により図書購入に努めた。図書館の利用に関しては、昼休み放課後、また授業等でも利用している。芸術鑑賞はコロナウィルス感染対策を行いながら弘前市民会館で実施した。来年度も状況を見ながら実施したい。視聴覚機器の点検も行い、各種行事等で利用した。</p> <p>2-1 予防的な生徒指導の確立を目指した。全職員との共通理解を図ることで生徒理解も深まり、いじめやトラブルなどの早期発見・問題解決に有用であった。</p> <p>2-2 様々な特別活動において、教師と生徒間の信頼関係作り、生徒会活動の活性化に努め、各種学校行事において一定の成功を収めた。次年度もさらに生徒会を中心に学校諸活動の活性化に努めたい。</p> <p>2-3 心に悩みを抱えている生徒、保護者、教員に対し、教育相談、スクールアドバイザー等を活用し問題解決に努めた。今年度は特に不登校が増えたので、次年度も関係機関との協力体制を密にし、生徒等の悩みをサポートしたい。</p> <p>2-4 後援会事業(教育環境の整備、部活動の活性化等)を中心に、教育活動の充実を目指す。</p> <p>3-1 卒業生全員の進路決定実現をめざし、進路達成を成し遂げた。職員間の情報連携強化に努めた。保護者への進路等に関する情報発信の場(学年保護者集会、中学生体験入学、公開授業日等)を継続して実施した。</p> <p>3-2 キャリアカードの活用を促し、生徒自らが資格取得や実績、成果を管理できる環境作りに取り組んでいる。また、進路通信を発行し、進路情報の発信・提供・共有に努めている。今後も継続して進路活動の「見える化」に取り組み、組織的な進路指導の充実を図る。</p> <p>4-1 ものづくり教育や資格取得を絡めた工業教育に取り組んだ。ものづくり教育を通し、勤労観を養い、品性豊かで情操と創造性に富んだ、調和のとれた工業人の育成並びに人格形成を継続して進めた。</p> <p>4-2 教職員の指導力向上を目指し、計画的な研修計画を組んだが、コロナの影響で校外研修がリモート研修やオンデマンド研修となった。今後も情報を収集し、教員研修の充実を図ってきたい。</p>
---------	--